

Dell™ 2400MP プロジェクタ ユーザーズガイド

メモ、注意、警告

-  **メモ:**「メモ」は、プロジェクトの使用に際して役立つ重要な情報を意味します。
-  **注意:**「注意」はハードウェアの破損やデータ損失の可能性があるので、このようなトラブルを防ぐための方法について記載しています。
-  **警告:**「警告」は物的損害、人的傷害、もしくは死傷につながる可能性のある事項を意味しています。

本書の内容は予告なく変更される場合があります。
© 2007-2008 Dell Inc. All rights reserved.

Dell 社の事前の書面による許可なく本書を再製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標: *Dell* および *DELL* のロゴは Dell Inc. の商標です、*DLP* および *DLP*[®] のロゴは Texas Instruments の商標です、*Microsoft* および *Windows* は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名称はそれぞれの所有者に帰属するものです。Dell 社は他社の所有する商標や製品名に対し一切の主張を放棄します。

モデル 2400MP

2008 年 5 月 改訂 A02

目次

1	プロジェクタについて	5
	プロジェクタについて	7
2	プロジェクタの接続	8
	コンピュータへの接続	9
	DVD プレーヤへの接続	10
	S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤへの接続	10
	コンポジットケーブルを使った DVD プレーヤへの接続	11
	コンポーネントケーブルを使った DVD プレーヤへの接続	12
	プロフェッショナル向け取り付けオプション	13
3	プロジェクタの使用方法	14
	プロジェクタの電源オン	14
	プロジェクタの電源オフ	14
	投影されたイメージの調整	15
	プロジェクタの高さを上げる	15
	プロジェクタの高さを下げる	15
	プロジェクタのズームとフォーカスの調整	16
	投射画像サイズの調整	17

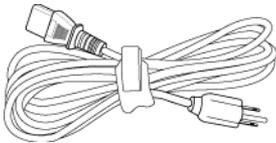
コントロールパネルの使用方法	18
リモコンの使用方法	20
オンスクリーンディスプレイの使用方法	21
メインメニュー	22
入力選択	22
自動調整	22
設定	23
ピクチャ (PC モード)	24
ピクチャ (ビデオモード)	24
ディスプレイ (PC モード)	25
ディスプレイ (ビデオモード)	26
ランプ	26
言語	27
環境設定	28
4 プロジェクタのトラブルシューティング	32
ランプの交換	36
5 仕様	38
デルへのお問い合わせ	43
6 付録 : 用語集	44

プロジェクタについて

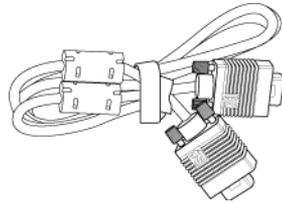
このプロジェクタには下記のアイテムが含まれています。すべてのアイテムが揃っていることをご確認ください。万一、不足品がある場合は、デルまでお問い合わせください。

同梱品

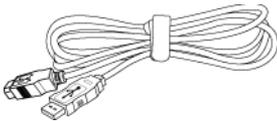
1.8 m 電源コード（アメリカ 3.0 m） 1.8m VGA ケーブル (D-sub - D-sub)



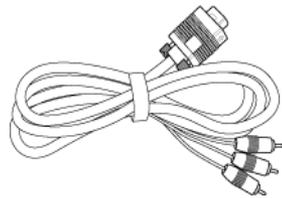
1.8m USB ケーブル



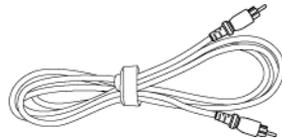
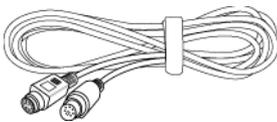
1.8m D-sub - YPbPr ケーブル



2.0 m S-Video ケーブル

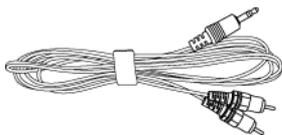


1.8 m コンポジットビデオケーブル

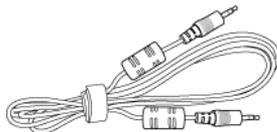


同梱品 <舞±> (続く)

1.8 m RCA - オーディオケーブル



1.8 m ミニピン - ミニピンケーブル



電池 (2)



リモコン



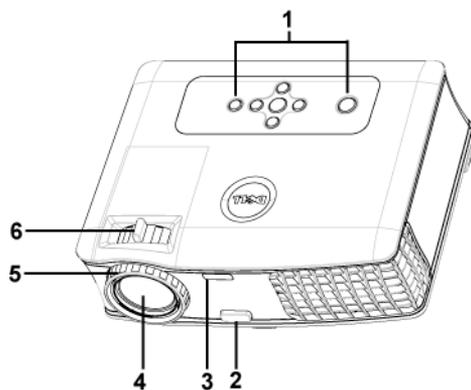
取扱説明書



キャリーケース



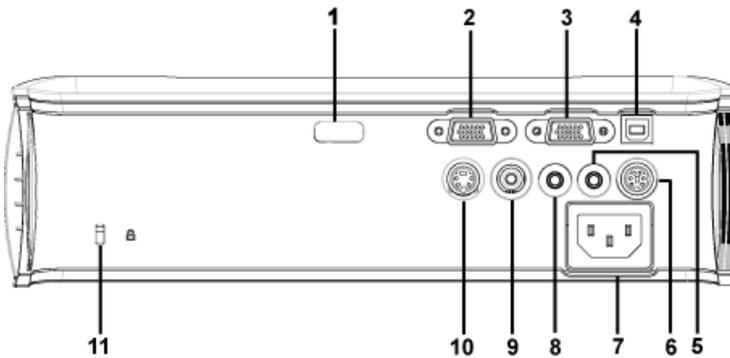
プロジェクタについて



1	コントロールパネル
2	エレベータボタン
3	リモコン受信部
4	レンズ
5	フォーカスリング
6	ズームタブ

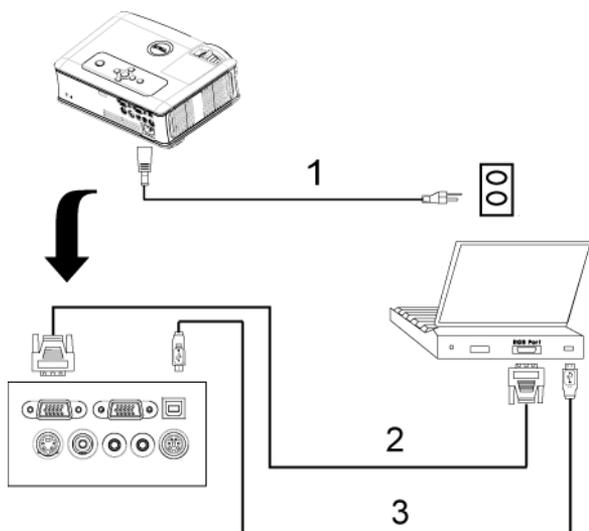
2

プロジェクタの接続



1	IR 受信部
2	VGA 入力 (D-sub) コネクタ
3	VGA 出力 (モニターループスルー)
4	USB リモートコネクタ
5	オーディオ出力コネクタ
6	RS232 コネクタ
7	電源コードコネクタ
8	オーディオ入力コネクタ
9	コンポジットビデオコネクタ
10	S ビデオコネクタ
11	Kensington ロック穴

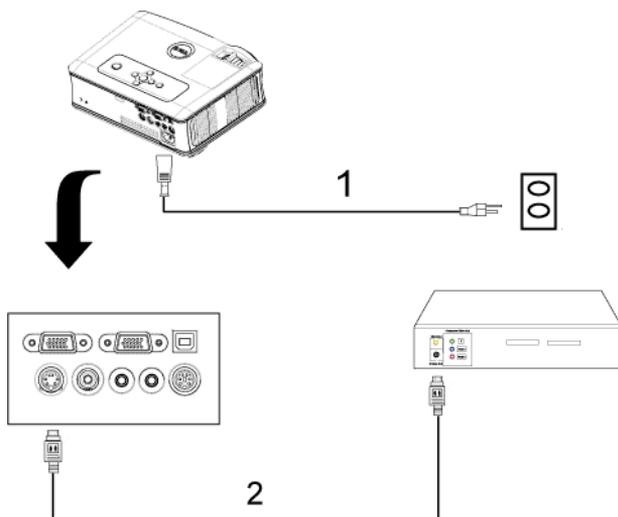
コンピュータへの接続



1	電源コード
2	D-sub - D-sub ケーブル
3	USB - USB ケーブル

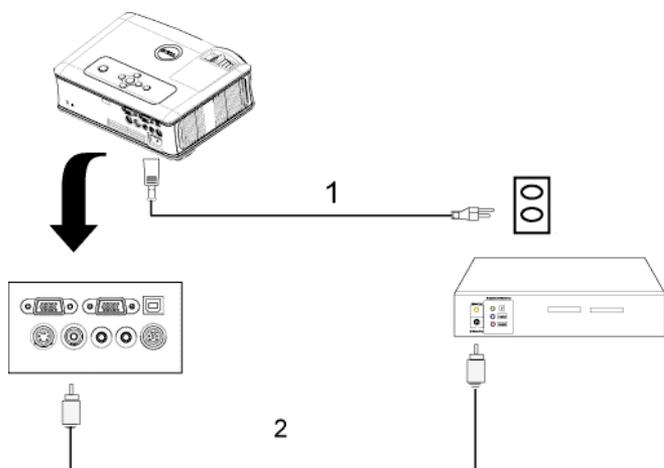
DVD プレーヤーへの接続

S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーへの接続



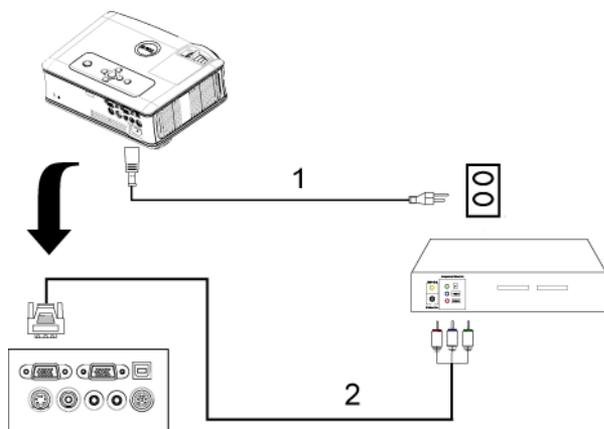
1	電源コード
2	S ビデオケーブル

コンポジットケーブルを使った DVD プレーヤーへの接続



1	電源コード
2	コンポジットビデオケーブル

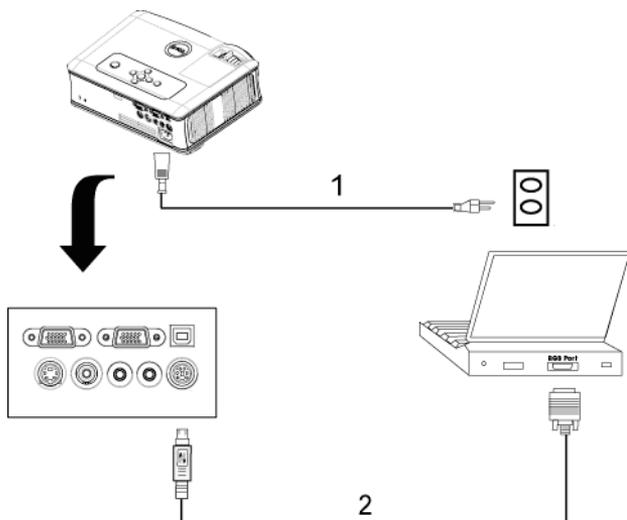
コンポーネントケーブルを使った DVD プレーヤーへの接続



1	電源コード
2	D-sub - YPbPr ケーブル

プロフェッショナル向け取り付けオプション：

RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	RS232 ケーブル

プロジェクトの使用法

プロジェクトの電源オン

 **メモ:** ソースの電源を入れる前に、プロジェクトの電源を入れてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅しています。

- 1 レンズキャップを外します。
- 2 電源コードと適切な信号ケーブルを接続します。プロジェクトの接続については、を参照してください。"プロジェクトの接続" 8 ページ
- 3 電源ボタンを押します（電源ボタンの場所については、を参照してください）。"コントロールパネルの使用法" 18 ページ 30 秒間デルのロゴが表示されます。
- 4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤなど）の電源を入れます。プロジェクトが自動的にソースを検出します。

「信号検出中…」というメッセージが画面に表示された場合は、適切なケーブルがしっかりと接続されているかどうかを確認してください。

プロジェクトに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルの **Source**（ソース）ボタンを押して、希望のソースを選択してください。

プロジェクトの電源オフ

 **注意:** 以下で説明するように正しいシャットダウン手順を踏むまでは、プロジェクトの電源を切らないでください。

- 1 電源ボタンを押します。
- 2 もう一度電源ボタンを押します。冷却ファンが 90 秒ほど回り続けます。
- 3 時間を掛けずにプロジェクトの電源を切るには、プロジェクトの冷却ファンが作動中に電源ボタンを押します。

 **メモ:** プロジェクトの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

- 4 コンセントとプロジェクトから電源ケーブルを取り外してください。

メモ: プロジェクタ作動中に電源ボタンを押すと、「ランプを消しますか?」というメッセージが画面に表示されます。このメッセージを消すには、コントロールパネル上のいずれかのボタンを押すか、メッセージを無視します。メッセージは5秒間表示されて消えます。

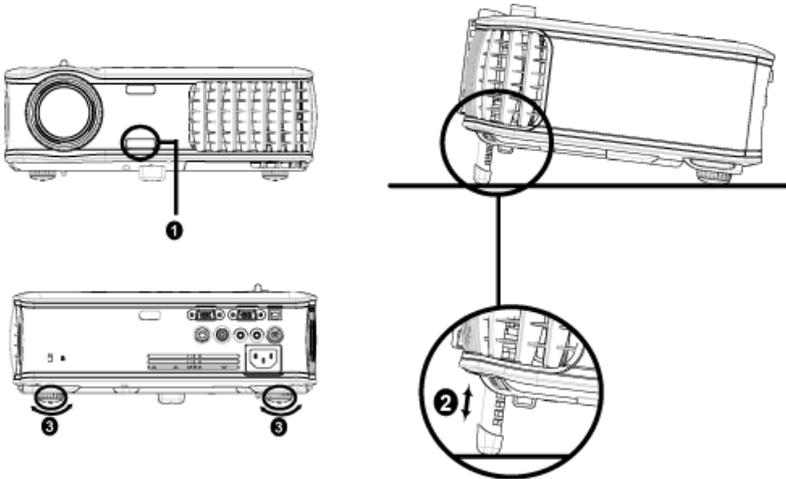
投影されたイメージの調整

プロジェクタの高さを上げる

- 1 エレベータボタンを押します。
- 2 プロジェクタを任意の高さまで上げ、ボタンを離し、エレベータフットを固定します。
- 3 傾斜調整ホイールを使用してディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

- 1 エレベータボタンを押します。
- 2 プロジェクタを下げ、ボタンを離し、エレベータフットを固定します。

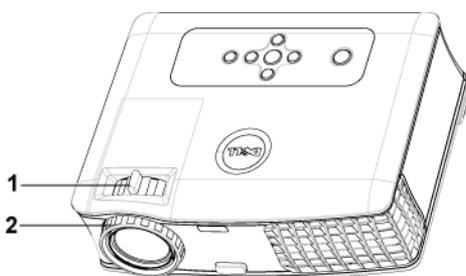


1	エレベータボタン
2	エレベータフット
3	傾斜調整ホイール

プロジェクタのズームとフォーカスの調整

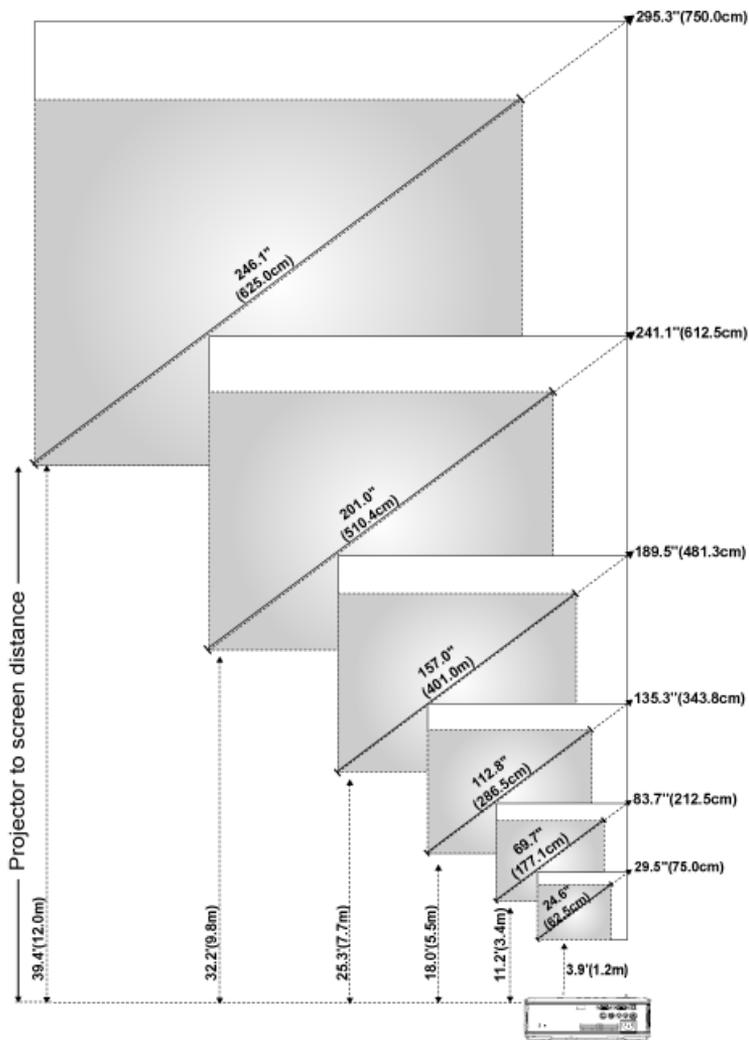
⚠ 警告: プロジェクタを破損する恐れがありますので、ズームレンズとエレベータフットが完全に引っ込んでいることを確認してから、プロジェクタを移動したりキャリーケースに収納したりしてください。

- 1 ズームタブを回転させて拡大または縮小します。
- 2 イメージが鮮明になるまでフォーカスリングを回転させます。このプロジェクタで焦点が合う距離は 1.2 ~ 12 m (3.9 ft ~ 39.4 ft) です。



1	ズームタブ
2	フォーカスリング

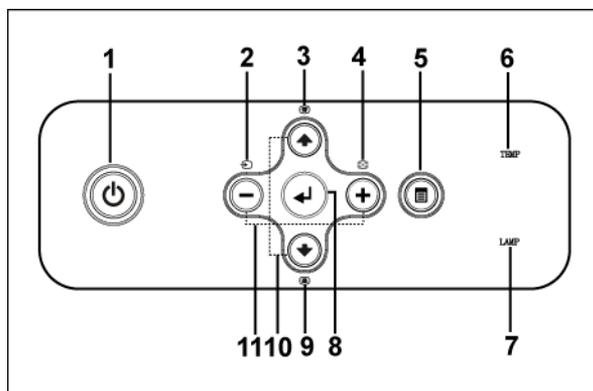
投射画像サイズの調整



画面 (対角)	最大	29.5" (75.0 cm)	83.7" (212.5 cm)	135.3" (343.8 cm)	189.5" (481.3 cm)	241.1" (612.5 cm)	295.3" (750.0 cm)
	最小	24.6" (62.5 cm)	69.7" (177.1 cm)	112.8" (286.5 cm)	157.0" (401.0 cm)	201.0" (510.4 cm)	246.1" (625.0 cm)
画面サイズ	最大 (幅 x 高)	23.6" X 17.7"	66.9" X 50.2"	108.3" X 81.2"	151.6" X 113.7"	192.9" X 144.7"	236.2" X 177.2"
		(60.0 cm X 45.5 cm)	(170.0 cm X 127.5 cm)	(275.0 cm X 206.3 cm)	(385.0 cm X 288.8 cm)	(490.0 cm X 367.5 cm)	(600.0 cm X 450.0 cm)
	最小 (幅 x 高)	19.7" X 14.8"	55.8" X 41.8"	90.2" X 67.7"	126.3" X 94.7"	160.8" X 120.6"	196.9" X 147.6"
		(50.0 cm X 37.5 cm)	(141.7 cm X 106.3 cm)	(229.2 cm X 171.9 cm)	(320.8 cm X 240.6 cm)	(408.3 cm X 306.3 cm)	(500.0 cm X 375.0 cm)
投射距離		3.9' (1.2 m)	11.2' (3.4 m)	18.0' (5.5 m)	25.3' (7.7 m)	32.2' (9.8 m)	39.4' (12.0 m)

* このグラフはあくまでも参照用に提供されたものです。

コントロールパネルの使用方法

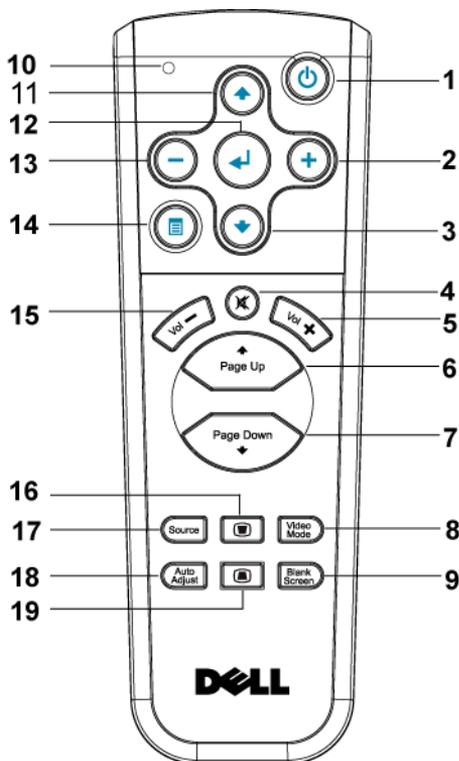


1 電源

プロジェクタの電源のオンとオフを切り替えます。詳細については、"プロジェクタの電源オン" 14 ページと "プロジェクタの電源オフ" 14 ページを参照してください。

2	ソース	複数ソースがプロジェクトに接続されている場合、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント -i、S ビデオ、アナログ YPbPr ソースを順に切り替えます。
3	キーストーン補正	ボタンを押して、プロジェクトの傾きによって起こるゆがみを調整します (±40 度)。
4	再同期化	プロジェクトと入力ソースを同期させます。 再同期化 は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は操作できません。
5	メニュー	OSD が表示されます。方向キーと Menu (メニュー) ボタンで OSD を操作します。
6	TEMP 警告ライト	<ul style="list-style-type: none"> オレンジ色のTEMPライトの点灯はプロジェクトの過熱を示します。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源を入れてください。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。 オレンジ色のTEMPライトの点滅はプロジェクトのファンが失効し、プロジェクトが自動的にシャットダウンすることを示します。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。
7	LAMP 警告ライト	LAMP ライトがオレンジ色に点灯している場合、ランプを交換してください。LAMP ライトがオレンジ色に点滅している場合は、システムが失効しプロジェクトが自動的にシャットダウンすることを示します。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。
8	入力	このボタンを押して選択を確定します。
9	キーストーン補正	ボタンを押して、プロジェクトの傾きによって起こるゆがみを調整します (±40 度)。
10	上  と  下	OSD 選択を確定します。
11	 と  ボタン	OSD 設定を調整します。

リモコンの使用方法



1	電源	プロジェクタの電源のオンとオフを切り替えます。詳細については、"プロジェクタの電源オン" 14 ページと "プロジェクタの電源オフ" 14 ページを参照してください。
2	⊕	OSD 設定を調整します。
3	下ボタン ⊕	OSD 選択を確定します。
4	消音	プロジェクタのスピーカを消音にするかまたは消音を解除します。
5	ボリューム ⊕	ボリュームを上げます。
6	ページ ⊕	前のページへ移動します。

7	ページ 	次のページへ移動します。
8	ビデオモード	Dell 2400MP マイクロプロジェクタにはデータ (PC グラフィック) やビデオ (ムービー、ゲームなど) の表示に最適なプリセット設定があります。 ビデオモード ボタンを押して、 PC モード 、 ムービーモード 、 ゲームモード 、 sRGB 、 カスタムモード (好みの設定を設定し保存してあるユーザーの場合) を切り替えます。 ビデオモード ボタンを 1 回押すと、現在のディスプレイモードが表示されます。もう一度 ビデオモード ボタンを押すと、モードが切り替わります。
9	白紙画面	画像を非表示にし、もう一度押すと画像を表示します。
10	LED ライト	LED インジケータ
11	上ボタン 	OSD 選択を確定します。
12	Enter ボタン	このボタンを押して選択を確定します。
13		OSD 設定を調整します。
14	メニュー	OSD が表示されます。
15	ボリューム 	ボリュームを下げます。
16	キーストーン補正	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (± 40 度)。
17	ソース	アナログ RGB、デジタル RGB、コンポジット、コンポーネント -i、S ビデオ、アナログ YPbPr ソースを切り替えます。
18	自動調整	プロジェクタと入力ソースを同期させます。OSD (オンスクリーンディスプレイ) が表示されている場合、自動調整は作動しません。
19	キーストーン補正	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (± 40 度)。

オンスクリーンディスプレイの使用法

プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ (OSD) があり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。

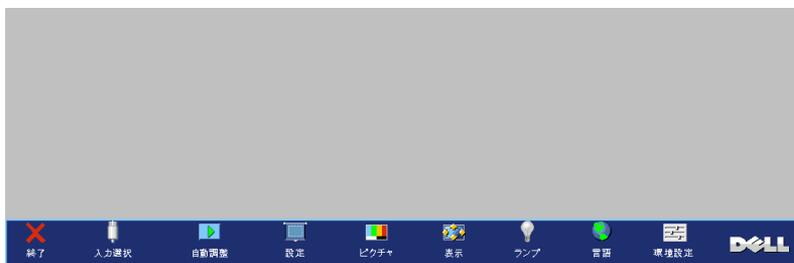
メインメニューで  または  を押してタブを移動します。コントロールパネルまたはリモコンの入力ボタンを押してサブメニューを選択します。

サブメニューで  または  を押して選択します。選択を確定すると、色が灰色になります。コントロールパネルまたはリモコンの  または  を使って設定を調整します。

メインメニューに戻るには、戻るタブに進み、コントロールパネルまたはリモコンの入力ボタンを押します。

OSD を終了するには、終了タブに進み、コントロールパネルまたはリモコンの入力ボタンを押します。

メインメニュー



入力選択



自動ソース—オン (既定値) を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクタの電源が入った状態で **SOURCE (ソース)** ボタンを押すと、自動的に次の入力信号を検出します。**オフ** を選択すると、現在の入力信号をロックします。**オフ** が選択された状態で **SOURCE (ソース)** を押すと、使用したい入力信号を自分で選択することができます。

VGA—入力を押すと VGA 信号を検出します。

S ビデオ—入力を押すと S ビデオ信号を検出します。

コンポジットビデオ—入力を押すとコンポジットビデオ信号を検出します。

自動調整



選択すると「自動調整実行中」の情報が表示されます。

設定

水平キーストーン—プロジェクタの位置を水平方向に移動したことによって起こるゆがみを調整します。



垂直キーストーン—プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。

自動キーストーン—プロジェクタの傾きによる画像のゆがみを自動調整します。

投影モード—画像が表示される方法を選択します。

-  デスクトップ前面投射 (既定値)。
-  前面投射 - 天井取り付け - 天井取り付けで投射する場合、プロジェクタが画像の上下を逆に表示します。
-  デスクトップ背面投射 - 画像を反転表示します。透過画面の裏面から投射する場合に選択します。
-  背面投射 - 天井取り付け - プロジェクタが画像を反転し、上下を逆に表示します。天井取り付けで透過画面の裏面から投射する場合に選択します。

縦横比—縦横比を選択し、画像の表示方法を調整します。

- 1:1 - 入力ソースを調整なしでそのまま表示します。
以下のいずれかの場合、1:1 縦横比を使用します。
 - VGA ケーブルとコンピュータの解像度が XGA (1024 x 768) 以下の場合
 - コンポーネントケーブル (576 p/480 i/480 p)
 - S ビデオケーブル
 - コンポジットケーブル
- 16:9 - 入力ソースを画面の幅に合わせて調整します。
- 4:3 - 入力ソースを画面に合わせて調整します。
以下のいずれかの場合、16:9 または 4:3 を使用します。
 - コンピュータの解像度が XGA 以上の場合
 - コンポーネントケーブル (1080 i または 720 p)

プロジェクト情報—これを押すと、プロジェクトのモデル名、現在の解像度、シリーズ番号 (PPID#) が表示されます。

ピクチャ (PC モード)



明るさ—と ⊖ ⊕ を使って画像の明るさを調整します。

コントラスト—と ⊖ ⊕ を使って画像の明るい部分と暗い部分の差異度を調整します。コントラストを調整すると、イメージの白黒要素が増減します。

色温度—色温度設定を調整します。温度が高いほど画面は青くなり、温度が低いほど画面は赤くなります。ユーザーモードでは、カラー設定メニューの値が有効になります。

色調整—手動で赤、緑、青の色を調整します。

ピクチャ (ビデオモード)



明るさ—と ⊖ ⊕ を使って画像の明るさを調整します。

コントラスト—と ⊖ ⊕ を使って画像の明るい部分と暗い部分の差異度を調整します。コントラストを調整すると、イメージの白黒要素が増減します。

色温度—色温度設定を調整します。温度が高いほど画面は青くなり、温度が低いほど画面は赤くなります。ユーザーモードでは、カラー設定メニューの値が有効になります。

ユーザーモードでは、カラー設定メニューの値が有効になります。

色調整—手動で赤、緑、青の色を調整します。

彩度—ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。⊖を押して画像のカラー量を減少させ、⊕を押してカラー量を増加させます。

鮮明度—を押⊖して鮮明度を下げ、⊕を押して鮮明度を上げます。

色合い—⊖を押して画像の緑色の量を増加させ、⊕を押して赤色の量を増加させます。

ディスプレイ (PC モード)



ビデオモード—プロジェクタの使用方法に基づきディスプレイを最適化するために、**PC**、**ムービー**、**sRGB** (より正確な色表現が可能)、**ゲーム**、**カスタム** (好みの設定に設定) から選択します。**白の強度**または**ガンマ補正**を調整する場合、プロジェクタは自動的に**カスタム**に切り替わります。
信号の種類—RGB、YCbCr、YPbPrの信号の種類を手動で選択します。

ズーム—を押すと、投射画面の画像がデジタルで10倍まで拡大されます。⊕⊖を押すと、拡大された画像が縮小します。

白の強度—0に設定すると色の再現を最大化し、10に設定すると明るさを最大化します。

ガンマ補正—4つの既定値を調整しディスプレイのカラーパフォーマンスを変更します。

水平位置—⊖を押して画像の水平位置を左へ、⊕を押して水平位置を右へ移動します。

垂直位置—⊖を押して画像の垂直位置を下へ、⊕を押して垂直位置を上へ移動します。

周波数—画面のデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、**周波数**コントロールを使って縦線を最小限に抑えることができます。ここでは粗調整が行われます。

トラッキング —画面信号の位相をグラフィックカードと同期化します。画像が不安定、またはちらつく場合は、トラッキングでこれを修正します。ここでは微調整が行われます。

ディスプレイ (ビデオモード)



ビデオモード —プロジェクタの使用方法に基づきディスプレイを最適化するために、PC、ムービー、sRGB (より正確な色表現が可能)、ゲーム、カスタム (好みの設定に設定) から選択します。白の強度またはガンマ補正を調整する場合、プロジェクタは自動的にカスタムに

切り替わります。

信号の種類 —RGB、YCbCr、YPbPr の信号の種類を手動で選択します。

ズーム —を押すと、投射画面の画像がデジタルで 10 倍まで拡大されます。

⊖ ⊕ を押すと、拡大された画像が縮小します。

白の強度 —0 に設定すると色の再現を最大化し、10 に設定すると明るさを最大化します。

ガンマ補正 —4 つの既定値を調整しディスプレイのカラーパフォーマンスを変更します。

ランプ



ランプ寿命 —ランプタイマーがリセットされてからの経過時間が表示されます。

省電力 —オン を選択して省電力遅延時間を設定します。遅延時間は、信号がない状態でプロジェクタが待機する時間を指します。この設定時間の後、

プロジェクタは省電力モードに入り、ランプが消えます。信号入力が出検されたり、電源ボタンが押されると、プロジェクタは再度オンになります。2 時間が経過するとプロジェクタの電源が切れるため、もう一度電源ボタンを押してプロジェクタをオンにする必要があります。

エコモードオンを選択すると低電源レベル（230 W）で 프로젝タを作動させます。ランプの寿命が長くなり、動作が静かになりますが、画面投射の明るさはやや暗くなります。オフを選択すると通常の電源（260 W）レベルで動作します。

ランプリセット—新しいランプを取り付けた後、はいを選択してランプタイマーをリセットします。

言語



環境設定



ボリューム — \ominus を押してボリュームを下げ、 \oplus を押してボリュームを上げます。

消音 — 音声を消音にします。

カスタム画面 — $\langle \text{Enter} \rangle$ を押すと、ポップアップメニューが表示されます。[はい]を選択してください。プロジェクターが画面のイメージを [マイカスタムロゴ] としてキャプチャします。この画面は、Dell のロゴが表示されていた元の画面に上書きされず、ポップアップ画面から [Dell ロゴ] を選択すると、元の画面に戻すこと

ができます。

メニューロック — オンを選択すると、OSD メニューを非表示にするためのメニューロックが有効になります。オフを選択するとメニューロックが解除されます。メニューロック機能を無効にして OSD を非表示にしたい場合、パネルのメニューボタンを 15 秒間押してから機能を無効にします。

メニュータイムアウト — OSD 時間切れの遅延時間を調整します。既定の設定値は 30 秒です。

メニュー位置 — OSD の画面上の位置を選択します。

メニュー設定 — OSD 背景を完全または半透明に変更します。

パスワード — パスワード保護機能でプロジェクタを保護し、アクセスを制限します。このセキュリティ機能を使い、ユーザのプライバシーを保護し、他人がプロジェクタに手を加えることができないよう、さまざまなアクセス制限を設定することができます。許可なく持ち去られてもプロジェクタは使用できないため、窃盗防止機能として役立ちます。

パスワード保護が有効 (オン) になっている場合、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が最初に入れられたときに、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。デフォルトではこの機能は無効になっています。パスワードメニューからこの機能を有効にすることが

できます。このパスワードセキュリティ機能は次にプロジェクトをオンにしたときから有効になります。この機能を有効にすると、プロジェクトをオンにした後パスワードの入力を求められます。

1 初回パスワード入力の要求：

- a **環境設定** メニューに移動し、**入力**を押して**パスワード**を選択するとパスワード設定が**有効**になります。



- b パスワード機能を有効にすると、文字画面がポップアップ表示されます。4桁の番号を画面から入力して**入力**ボタンを押します。



- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。

d パスワード認証に成功後、プロジェクタの機能とユーティリティにアクセスすることができます。

2 誤ったパスワードを入力した場合、あと2回のうちに正しいパスワードを入力する必要があります。3回認証に失敗すると、プロジェクタは自動的にオフになります。



メモ: パスワードを忘れた場合、販売店または正規サービス技術者にご連絡ください。

3 パスワード機能をキャンセルする場合は、**オフ**を選択し、パスワードを入力してこの機能を無効にします。

パスワードの変更 —元のパスワードを入力し、次に新しいパスワードを入力した後、確認のため新しいパスワードをもう一度入力します。

テストパターン —オン を選択すると、フォーカスと解像度を自己テストする組み込みの**テストパターン**が表示されます。**オフ** を選択するとこの機能が無効になります。

出荷時にリセットオンを選択すると、プロジェクタが工場出荷時の初期設定にリセットされます。コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

プロジェクタのトラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合は、下記のトラブルシューティングをご覧ください。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。

問題

画面に画像が表示されません。

解決方法

- レンズキャップは外れていますか。プロジェクタの電源は入っていますか。
 - 外部グラフィックポートが有効であることを確認してください。デルノートパソコンをご使用の場合は、  (Fn+F8) を押してください。その他のコンピュータについては、取扱説明書をお読みください。
 - すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確かめてください。8 ページを参照してください。
 - コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないかどうか確認してください。
 - ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください (36 ページを参照)。
 - プレファレンスメニューのテストパターンを使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認してください。
-

問題 <舞±> (続く)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または正しく表示されません。

解決方法 <舞±> (続く)

- 1 リモコンまたはコントロールパネルの **Resync (再同期化)** ボタンを押してください。
- 2 デルノートパソコンをご利用の場合は、コンピュータの解像度を XGA (1024 x 768) に設定してください。
 - a これには、Windows デスクトップを右クリックし、**プロパティ** をクリックして **設定** タブを開きます。
 - b ここで外部モニターポートの設定が 1024 x 768 ピクセルになっているかどうか確認してください。
 - c   (Fn+F8) を押してください。

解像度を変更できない場合や、モニタがフリーズしてしまう場合は、すべての装置とプロジェクタを再起動してください。

デルノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をご覧ください。

画面にプレゼンテーションが表示されません。

ノートパソコンをご使用の場合は、  (Fn+F8) を押してください。

画像が不安定、またはちらつきます。

OSD **ディスプレイ** タブでトラッキングを調整してください (PC モードのみ)。

画像に縦線が入ります。

OSD **ディスプレイ** タブで周波数を調整してください (PC モードのみ)。

画像の色が正しくありません。

- グラフィックカードの出力信号が緑に同期化しており、VGA を 60 Hz 信号で表示したい場合は、OSD で **ディスプレイ** を選択し、**シグナルタイプ** を選択し、さらに **RGB** を選択してください。
- **プレファレンス** メニューの **テストパターン** を使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認してください。

問題 <舞±く>(続く)	解決方法 <舞±く>(続く)
画像の焦点が合いません。	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整してください。 2 投射画面がプロジェクタから規定の距離範囲内にあることを確かめてください (3.9 ft [1.2 m] ~ 39.4 ft [12 m])。
16:9 DVD を表示すると画像が伸びてしまいます。	<p>プロジェクタは 16:9 DVD を自動的に検出し、アスペクト比を 4:3 (レターボックス) 既定値で全画面に調整します。</p> <p>画像が伸びますので、下記のようにアスペクト比を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 16:9 DVD を再生している場合、DVD プレーヤで 4:3 アスペクト比を選択してください。 • DVD プレーヤで 4:3 のアスペクト比を選択できない場合、OSD の 設定 メニューで 4:3 アスペクト比を選択してください。
画像が反転してしまいません。	OSD で 設定 を選択し、プロジェクタモードを調整してください。
ランプが消耗しました、または音を立てます。	ランプに寿命が来ると、消耗して燃え尽きたり、音を立てることがあります。この場合は、プロジェクタの電源が入りません。ランプを交換するには、36 ページを参照してください。
LAMP ライトがオレンジ色に点灯します。	LAMP ライトがオレンジ色に点灯している場合、ランプを交換してください。
LAMP と Power の LED がオレンジ色に点滅	LAMP と Power LED がオレンジ色に点滅している場合はランプ ドライバが失効し、プロジェクターが自動的にシャットダウンすることを示します。3 分間待ってから電源を取り外し、再度ディスプレイを付けてください。それでも問題が継続する場合は、Dell にお問い合わせください。

問題 <舞±く>(続く)	解決方法 <舞±く>(続く)
LAMP LED がオレンジに点滅し、Power LED が青く点灯	LAMP LED がオレンジ色に点滅し、Power LED が青く点灯している場合は、システムが失効し、プロジェクターが自動的にシャットダウンすることを示します。3分間待ってから電源を取り外し、再度ディスプレイを付けてください。それでも問題が継続する場合は、Dell にお問い合わせください。
TEMP LED がオレンジに点灯し、Power LED が青く点灯	ランプが過熱状態にあります。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクターが冷めてから、ディスプレイを付けてください。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。
TEMP LED と Power LED がオレンジ色に点灯	ランプドライバが過熱状態にあります。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクターが冷めてから、ディスプレイを付けてください。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。
TEMP ライトがオレンジ色に点滅します。	プロジェクタのファンに不具合が発生しているため、プロジェクタが自動的にシャットダウンします。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。
OSD が画面に表示されません。	パネル上のメニューボタンを 10 秒間押し、OSD のロックを解除します。メニューロック 28 ページを確認してください。
リモートコントローラがスムーズに動作しません。限られた範囲でしか動作しません。	電池容量が不足しています。新しい単 4 電池 2 本を交換してください。

ランプの交換

次のメッセージが表示されたら、ランプを交換してください。「ランプのフルパワー操作での耐用期間がもうすぐ終了します。交換をお勧めします。www.dell.com/lamps」というメッセージが画面に表示されたら、ランプを交換しましょう。ランプを交換してもこのメッセージが表示される場合は、デルにお問い合わせください。詳しくは、「Dell へのお問い合わせ」を参照してください。

⚠ 警告：ランプは使用中、非常に高温になります。プロジェクタが冷却するまで、少なくとも 30 分はランプの交換をしないでください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードを取り外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間放置して冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 2 つのネジを緩め、カバーを外します。

⚠ 警告：ランプが破損している場合、鋭い破片でケガをすることがありますので十分ご注意ください。破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは、www.dell.com/hg を参照してください。

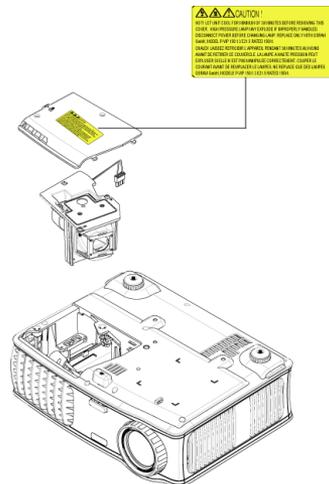
- 4 ランプを固定している 2 つのネジを緩めます。

⚠ 警告：電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすいため、触れると破損することがあります。

- 5 金属部分を持ってランプを取り出します。

メモ：デルは、保証中に交換されたランプをデルに返却するよう求める場合があります。その他の場合は、お住まいの地域の担当機関にご連絡の上、ランプを正しく廃棄してください。

- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定している 2 つのネジを締めてください。
- 8 ランプカバーを交換し、2 つのネジを締めます。
- 9 [OSD のランプ] タブで [ランプリセット] を [はい] に設定し、ランプ使用時



間をリセットしてください。(26 ページの [ランプ] メニューをご覧ください。)



警告：ランプの廃棄 (米国のみ)

 当製品内部のランプには水銀が含まれているため、お住まいの地域、州及び国の規定に従い廃棄する必要があります。詳しくは、WWW.DELL.COM/HG をご覧になるか、または《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト WWW.EIAE.ORG をご覧ください。ランプの廃棄方法に関する情報は、WWW.LAMPRECYCLE.ORG をご覧ください。

仕様

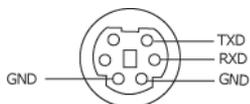
電球	シングルチップ 0.7" XGA LVDS (低電圧差動信号) 技術
明るさ	3000 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	2100:1 典型 (フルオン/フルオフ)
不変性	80 % 典型 (日本標準 - JBMA)
画素数	1024 x 768 (XGA)
表示可能色	16.7 M 色
カラーホイール速度	100 ~ 127.5 Hz (2X)
投射レンズ	F/2.4~2.7, f=28.0~33.6 mm 1.2x マニュアルズームレンズ付き
投射画面サイズ	24.6-295.3 インチ (対角)
投射距離	3.9 ~ 39.4 ft (1.2 m ~ 12 m)
ビデオ互換性	NTSC、NTSC 4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM、HDTV (1080i、720p、576i/p、480i/p) 互換性 コンポジットビデオ、コンポーネントビデオ、S-Video 互換性
H. 周波数	15kHz-92kHz (アナログ)
V. 周波数	50Hz-85Hz (アナログ)
電源	ユニバーサル 100-240V AC 50-60Hz、PFC 入力
消費電力	325 W (典型)、285 W (エコモード)
オーディオ	スピーカー x1、2 W RMS
ノイズレベル	36 dB(A) フルオンモード、33 dB(A) エコモード

重量	5.5 lbs (2.4 kg)
サイズ (幅 x 高 x 奥行)	外部 10.8 x 8.3 x 4 ± 0.04 インチ (273.7 x 212 x 101 ± 1 mm)
環境	動作温度: 5 °C - 35 °C (41°F - 95°F) 湿度: 80% (最大) 保管温度: -20 °C - 60 °C (-4°F - 140°F) 湿度: 80% (最大)
規定	FCC, CE, VCCI, UL, cUL, Nemko-GS, ICES-003, MIC, C-Tick, GOST, CCC, PSB, NOM, IRAM, SABS
I/O コネクタ	電源: AC 電源入力ソケット コンピュータ入力: アナログ / コンポーネント用 D-sub x 1、HDTV 入力信号 コンピュータ出力: 15-ピン D-sub x 1 ビデオ入力: コンポジットビデオ RCA x 1 および S-video x 1 オーディオ入力: 電話ジャック x 1 (直径 3.5 mm) オーディオ出力: 電話ジャック x 1 (直径 3.5 mm) PC からのワイヤリモート制御用ミニ DIN RS232 x 1
ランプ	260 W ユーザ交換可能 2000 時間ランプ (エコモードで最高 2500 時間)



メモ: プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件でプロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。Dell のプロジェクタに対して指定されたランプ寿命は、ストレスのない操作条件下で、50% 以上のサンプリング集団に対して、ランプの定格された明るさレベルが約 50% 低減した場合の標準時間を参照しています。これは、ランプが光熱出力を停止する時間の単位ではありません。

RS232 ピン割り当て



RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート :	19200
データビット :	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ

OSD メニューをポップアップ表示し設定を調整するには

- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクト)

[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]

- 例 : 電源オンコマンド (ローバイトを最初に送信)

--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01

- 制御コマンドのリスト

最新の RS232 コードを確認するには、support.dell.com を参照してください。

互換モード

モード	解像度	(アナログ)	
		V. 周波数 (Hz)	H. Frequency (KHz)
VGA	640 X 350	70	31.5
VGA	640 X 350	85	37.9
VGA	640 X 400	85	37.9
VGA	640 X 480	60	31.5
VGA	640 X 480	72	37.9
VGA	640 X 480	75	37.5
VGA	640 X 480	85	43.3
VGA	720 X 400	70	31.5
VGA	720 X 400	85	37.9
SVGA	800 X 600	56	35.2
SVGA	800 X 600	60	37.9
SVGA	800 X 600	72	48.1
SVGA	800 X 600	75	46.9
SVGA	800 X 600	85	53.7
XGA	1024 X 768	60	48.4
XGA	1024 X 768	70	56.5
XGA	1024 X 768	75	60.0
XGA	1024 X 768	85	68.7
WXGA	1280X720	59.85	44.77
WXGA	1280X768	59.87	47.77
WXGA	1280X800	59.81	49.70
WXGA	1360X768	60.01	47.71
WXGA	1440X900	59.87	55.93
WSXGA+	1680X1050	59.88	64.67
WUXGA	1920X1200	49.97	64.41
*SXGA	1280 X 1024	60	63.98
*SXGA	1280 X 1024	75	79.98
*SXGA	1280 X 1024	85	91.1
*SXGA+	1400X1050	60	63.98
*UXGA	1600 x 1200	60	75
MAC LC13*	640 X 480	66.66	34.98
MAC II 13*	640 X 480	66.68	35
MAC 16*	832 X 624	74.55	49.725

MAC 19*	1024 X 768	75	60.24
*MAC	1152 X 870	75.06	68.68
MAC G4	640 X 480	60	31.35
IMAC DV	1024 X 768	75	60
* 圧縮コンピュータ画像			

デルへのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



メモ: インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、またはデル製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

デルでは、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関するデルへのお問い合わせ:

- 1 support.dell.com をご覧ください。
- 2 ページの一番下にある **国 / 地域を選択する** ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
- 3 ページの左側にある **連絡する** をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 デルへの連絡方法を選択します。

付録：用語集

ANSI ルーメン— 高熱出力の単位で、プロジェクタを比較するために用いられています。

アスペクト比 (縦横比)— 最も一般的なアスペクト比は 4:3 (4 × 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式 4:3 アスペクト比です。この場合、画像の幅は画像の高さの 3 分の 4 ということになります。

バックライト— リモコン、プロジェクタのコントロールパネルなど、照明のあるボタンやコントロールを指します。

帯域幅 (バンド幅)— 周波数帯域の下限と上限周波数の差異を示す 1 秒間当たりのサイクル回数 (ヘルツ) を指し、周波数帯域の幅をあらわします。

輝度— ディスプレイや投射画面、または投射デバイスから発せられる光の量を指します。プロジェクタの輝度は ANSI ルーメンによって測定されます。

色温度— 光源の白さを測る方法です。金属ハライドランプはハロゲンや白熱灯と比べると高温となります。

コンポーネントビデオ— オリジナルイメージのすべての要素を含み、高品質のビデオを転送する方法です。これらコンポーネントはルマとクロマと呼ばれており、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されています。コンポーネントビデオは DVD プレーヤやプロジェクタで使用可能です。

コンポジットビデオ— 縦と横の空白化および同期化信号を含む画像信号です。

圧縮— 画像から解像度ラインを検出し、画面領域に画像を合わせる機能です。

圧縮 SVGA— 800x600 の画像を VGA プロジェクタで投射する場合、オリジナルの 800x600 信号は圧縮する必要があります。データはすべての情報を 3 分の 2 のピクセル (307,000 vs 480,000) で表示します。その結果、画像は SVGA のページサイズとなりますが、画質が劣化することとなります。SVGA コンピュータをお使いの場合、VGA を VGA プロジェクタに接続してください。より良い画質が得られます。

圧縮 SXGA— XGA プロジェクタで見られる圧縮 SXGA は、プロジェクタで最大 1280x1024 SXGA 解像度を可能とします。

圧縮 XGA— SVGA プロジェクタで見られる圧縮 XGA は、プロジェクタで最大 1024x768 XGA 解像度を可能とします。

コントラスト比 — 画像の中の明るい部分と暗い部分の範囲、または最大および最小値の間の比率を指します。以下は投影業界で使われている2つのコントラスト比測定方法です。

1 フルオン/オフ — 完全に白い画像 (フルオン) の光出力と完全に黒い画像 (フルオフ) の光出力の比率を測定します。

2 ANSI — 16の交互となった白と黒の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSIコントラスト比が算出されます。

フルオン/オフコントラストは、同じプロジェクタについては常にANSIコントラストよりも大きな値となります。

dB — デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2レベルの比率の常用対数の10倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。ひとつの角から対角線上の角までを測定します。9FT高、12FT幅の画面の対角は15FTとなります。この文書では、上記の例のように、対角サイズは従来のコンピュータの規格である4:3比率を基準としています。

DLP — Digital Light Processing — Texas Instrumentsにより開発された反射的なディスプレイ技術で、小型操作ミラーを使用しています。光がカラーフィルタを通してDLPミラーへと転送され、ここでRGB色を配色して画面に画像を映し出します。DMDとも呼ばれています。

DMD — digital Micro-Mirror Device — 各DMDには数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

DVI — Digital Visual Interface — プロジェクタやパソコンなどのデジタルデバイス間のデジタルインターフェースを定義します。DVI対応のデバイスでは、デジタル同士の接続が可能となり、アナログへの変換を省くことができます。そのため、劣化のない画像を実現することができます。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離を指します。

周波数 — 電子信号の1秒間当たりの反復速度を指します。単位はHzです。

Hz — 交互信号の周波数です。周波数の欄をご覧ください。

台形補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像のゆがみ (通常は上部が広く、下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

レーザーポインタ — ペンやタバコほどの大きさのポインタで、小さな電池稼働式の (通常は) 赤いレーザーが含まれており、画面上で非常に顕著な目印となる高密度光線です。

最長距離 — 完全に暗い部屋で使える (十分に明るい) 画像を投影することができる、画面からプロジェクタまでの距離です。

最大画像サイズ— 暗い部屋でプロジェクタが投射することができる最大の画像サイズです。通常、光学の焦点範囲による制限を受けます。

メタルハライドランプ— 多くの中級および高級ポータブルプロジェクタで使用されているランプのタイプです。これらのランプは 1000-2000 時間の "ハーフライフ" 機能を持っています。"ハーフライフ" 機能とは、ランプが徐々に明るさを失い、"ハーフライフ" 地点に達すると新しいものの半分の明るさを持つことを意味します。これらのランプは、街灯で使われている水銀灯のように、非常に "高温" のライトを出力します。白さは "非常に" 白く (多少青みがかっています)、これと比較すると、ハロゲンランプの白さが黄色く見えます。

最短距離— プロジェクタが画面の画像に焦点を合わせることができる最短距離です。

NTSC— 米国で使われているビデオ放送標準です。

PAL— ヨーロッパやその他の国で使われている国際ビデオ放送標準です。NTSC よりも高い解像度を持ちます。

パワーズーム— モータ駆動のズームインとズームアウトができるズームレンズで、通常はプロジェクタのコントロールパネルやリモコンで操作可能です。

反転画像— 画像を水平に反転させる機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像は反対になります。背面投射の場合に画像を反面にすることができます。

RGB— 赤、緑、青— 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニタを指します。

S-Video— 4 ピンのミニ DIN コネクタを使い、ルミナンス (輝度、Y) とクロミナンス (カラー、C) と呼ばれる 2 本のシグナルワイヤーでビデオ情報を送信するビデオ転送規格です。S-Video は Y/C とも呼ばれます。

SECAM— ビデオと放送に関する、フランスおよび国際放送規格です。NTSC よりも高い解像度となります。

SVGA— Super Video Graphics Array— 800 x 600 ピクセルカウント。

SXGA— Super Ultra Graphics Array—1280 x 1024 ピクセルカウント。

UXGA— Ultra Extended Graphics Array—1600 x 1200 ピクセルカウント。

VGA— Video Graphics Array—640 x 480 ピクセルカウント。

XGA— Extra Video Graphics Array— 1024 x 768 ピクセルカウント。

ズームレンズ— 可変式焦点距離のレンズで、操作する側が画像を大きくしたり、小さくしたりして表示することができます。

ズームレンズ比— プロジェクタを固定した状態における最小画像と最大画像の比率です。たとえば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの 10 フィート画像が、フルズームでは 14 フィートになることを意味します。

索引

R

RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続, 13

お

オンスクリーンディスプレイ, 21
ピクチャ (PC モード), 24
ピクチャ (ビデオモード), 24
メインメニュー, 22
ランプ, 26
環境設定, 28
言語, 27
自動調整, 22
設定, 23
入力選択, 22
表示 (ビデオモード), 26
表示 (PC モード), 25

か

コントロールパネル, 18

さ

サポート
デルへのお問い合わせ, 43
仕様
I/O コネクタ, 39
RS232 プロトコル, 40

オーディオ, 38
カラーホイール速度, 38
コントラスト比, 38
サイズ, 39
ノイズレベル, 39
ビデオ互換性, 38
ランプ, 38
画素数, 38
環境, 39
規定, 39
輝度, 38
互換モード, 41
重量, 39
消費電力, 38
垂直周波数, 38
水平周波数, 38
電球, 38
電源, 38
投射レンズ, 38
投射画面サイズ, 38
投射距離, 38
表示可能色, 38
不変性, 38

接続ポート

IR 受信器, 8
Kensington ロック穴, 8
RS232 コネクタ, 8
S-video コネクタ, 8
USB リモートコネクタ, 8
VGA 出力 (モニターケーブル), 8

VGA 入力 (D-sub) コネクタ
 , 8
オーディオ出力コネクタ , 8
オーディオ入力コネクタ , 8
コンポジットビデオコネクタ
 , 8
電源コードコネクタ , 8

た

デルへの
連絡先 , 43
デルへのお問い合わせ , 5, 19,
35-36, 43
トラブルシューティング , 32
Dell へのお問い合わせ , 32
電話番号 , 43
投影されたイメージの調整
 , 15
投射画像の調整
 プロジェクタの高さ調整 , 15
 プロジェクタを下げる
 エレベータフット , 15
 エレベータボタン , 15
 傾斜調整ホイール , 15
投射画像サイズの調整 , 36

は

プロジェクタのズームと
フォーカスの調整 , 16
ズームタブ , 16
フォーカスリング , 16
プロジェクタの接続

D-sub - D-sub ケーブル , 9
D-sub - YPbPr ケーブル , 12
RS232 ケーブル , 13
S-video ケーブル , 10
S-video ケーブルでの接続 , 10
USB - USB ケーブル , 9
コンピュータへ , 9
コンポーネントケーブルで
 , 12
コンポジットケーブルでの接
続 , 11
コンポジットビデオケーブル
 , 11
電源コード , 9-13

プロジェクタの電源を入れる /
切る
プロジェクタの電源を切る
 , 14
プロジェクタの電源を入れる
 , 14

本体 , 7
エレベータボタン , 7
コントロールパネル , 7
ズームタブ , 7
フォーカスリング , 7
リモコン受信器 , 7
レンズ , 7

ら

ランプの交換 , 36
リモコン , 20